

自然は友だち うら谷津市民農園連携プロジェクト

ボランティア

地域交流

[代表者] 農学部地域環境科学科 4 年 志村 緑

[連携先]
うら谷津市民農園参加者

そして、何よりもうら谷津市民農園が目指していた「うら谷津の再生活動に対する主体的な意欲の創出」は、確実に実現しつつあります。

[参加者]

志村 緑（農学部・4 年）
村山 祐太（農学部・3 年）
馬田 有希子（農学部・3 年）
他 うら谷津サークルメンバー 20 名

[プロジェクトの成果]

今年度実施したうら谷津市民農園の活動では、さまざまな方向性を見出すことが出来ました。まず私たちはただ農園活動するだけではなく、うら谷津市民農園が採用している農法（有機農法・自然農法）の研究・調査（土地と作物の相性）を行いました。そのことによって、よりうら谷津市民農園に適した自然共生型の農法が見え始めました。それは今ある自然、つまり「うら谷津（谷津田）」のありのままの形をいかす農業のあり方について知ることができたのです。またシンポジウムで自らの研究を発表したことによって、ますます耕作放棄地で耕作する自信を持ちました。

次に町で行われている地域イベント（「鍬耕祭」、 「あみ大好き青空市」）に主体的に参加しました。これは市民農園の枠を超え、地域づくりの一步を踏み出した活動だといえます。この地域イベントは、自然や農業をいかした豊かな暮らしあるまちづくりを実現していこうとする地域の活動です。まさに今後この地域があるべき姿として求められている重要課題です。この活動に参加し、さまざまな地域住民と“わがまち、わがふるさと”という意識で協働することができたのも市民農園が所在する「うら谷津」に身をおき、さらには再生活動を通して、見え始めた新たな意識によるものだと考えられます。